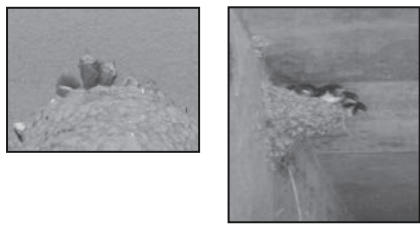


分類	2-(1)	資料名	生きもののせいかつ
資料について	 <p>この資料は、ツバメの観察を通して、命の大切さや生きる力を感じさせるために作成したものです。 それぞれの地域の実態にあわせて、お話を創作することができます。</p>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ツバメの子育てを通して、親子のつながりや愛情を感じ、自尊感情を高める。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ツバメを思いやる親ツバメの気持ちを実感する。 親やきょうだいの愛情を感じて成長していく子ツバメの姿に共感する。 		
指導の観点	<ul style="list-style-type: none"> ツバメだけでなく、身近な生きものを継続して観察ができるようにする。 幼児が観察したことや感じたことを話し合ったり、表現したりする。 写真等の教材を通して、興味や関心を高める。 		
展 開 例	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助	
	<p>① 見つけたツバメの巣の話を書く。</p> <p>② 資料の写真を見たり、お話を聞いて気づいたことを話し合ったりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教師：巣の中で留守番をしている子ツバメは、どんな気持ちかな。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> どこに行ったのかな。 早く帰ってこないかな。 お腹がすいたよ。 お母さん、寂しいよ。 我慢しよう。 お留守番、頑張るよ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> □ 幼児が、自宅や幼稚園の近くで見つけたツバメの巣のことを友だちに紹介する。 □ 幼児が想像を膨らませ、様々な思いをもつように写真や図鑑等を身近な所に置く。 ＜巣作りをするツバメ・空飛ぶツバメ・卵を温める親ツバメ・孵化したばかりのヒナ・大きくなった子ツバメ等＞ * 地域によっては、ツバメの巣を実際に見に行く。 □ 子ツバメが、親ツバメがいないとき、どんな気持ちで留守番をしているかなど、自分の経験と重ねて考えさせる。 □ 子ツバメが親ツバメを待つ様子や、親ツバメが巣に戻ったときの子ツバメの姿から、親子のつながりについて考えさせる。 □ 餌を何度も採って子育てをする親ツバメの懸命さに気づかせる。 	

<お話> ツバメの親子

商店街のクリーニング屋さんの軒下に、ツバメが巣作りを始めました。ツバメは近くの川の泥をくわえ、何度も泥を運んで、やっと丈夫な巣ができました。クリーニング屋さんのお婆さんは、「今年も来たんだね。」とほほえんで見ていました。

お父さんツバメとお母さんツバメは、産まれた5つの卵を交代で温めます。しばらくすると、5羽のヒナが産まれました。まだ産まれたてのヒナたちの声は、小さくひ弱でした。お父さんツバメとお母さんツバメは、ヒナたちのために、一日に何度も何度もえさを採りに行きました。

やがて、子ツバメたちは少し大きくなり、巣から顔が見えるようになりました。お父さんツバメとお母さんツバメが帰ってくると、子ツバメたちは大きな鳴き声を上げたり、巣の中で押し合ったり、時には巣から身を乗り出したりして、とても元気です。

子ツバメたちが巣から外の世界を見ていると、車や人がたくさん通って、商店街はとてにぎやかでした。その中をすいすいとすり抜けて飛ぶお父さんツバメやお母さんツバメはとても素敵で、子ツバメたちは、「早く大きくなりたいな。」とあこがれの気持ちで見っていました。

また、子ツバメたちは、お父さんツバメやお母さんツバメがいないときは、巣の中で用心して静かに待つようにしていました。

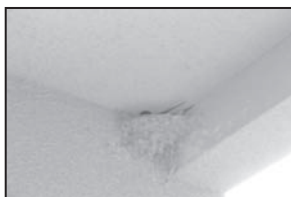
しばらくして、5羽の子ツバメはずいぶん大きくなり、巣の中で羽根を広げるなど、じっとしていません。この頃になると、お父さんツバメとお母さんツバメは、巣の近くの電線に止まって、「早くここまでおいで」と呼ぶのです。どの子が初めに巣を飛び出すのでしょうか。

電線で待つお父さんツバメとお母さんツバメは、「勇気を出して早くおいで。」「大丈夫だよ。」と声をかけました。子ツバメたちは、何度もためらいましたが、ついに1羽が飛び出しました。

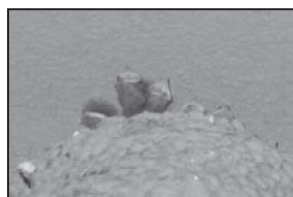
「やったー。」「できたー。」

そのきょうだいツバメの姿を見て、次々と子ツバメたちは電線まで飛んで行きました。一人で飛べるようになった子ツバメたちを見て、お父さんツバメとお母さんツバメは大喜びです。今日からは、家族みんなで一緒に空を自由に飛び、そして、自分でえさを採る勉強を始めるのです。

クリーニング屋のお婆さんは、ツバメの家族の巣立ちを見て、「また、静かになって寂しいね」と、旅立つツバメの家族を見送るのでした。



卵を温める親ツバメ



餌を求めるヒナ



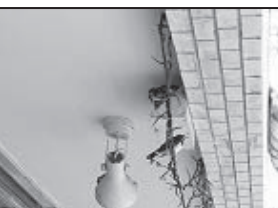
ヒナに餌を与える親ツバメ



巣で待つ子ツバメ



巣の周りで巣立ちのときを待つ子ツバメ



巣から出た子ツバメ